

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和 6 年 6 月 日			
福岡市長 高島 宗一郎 殿			
提出者			
住 所 福岡市中央区薬院三丁目4番9号			
氏 名 松尾建設株式会社 福岡支店			
支店長 味志 聡			
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 092-521-6761			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	松尾建設株式会社 福岡支店		
事業場の所在地	福岡市内事業所		
事業の種類	D 6 総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	7,522 t	全処理委託量	7,522 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	3,650 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	5,517 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
※事務処理欄			

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： コンクリート片)

有償物量

不要物等発生量

排 出 量	
①	6, 448. 34

①	6,448.34
---	----------

自ら直接 再生利用した量	
②	0.00

②	0.0
---	-----

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	
③	

③

自ら中間処理した量	
④	0.00

④	0.00
---	------

④のうち熱回収 を行った量	
⑤	0.00

⑤	0.00
---	------

自ら中間処理した 後の残さ量	
⑥	0.00

⑥	0.00
---	------

自ら中間処理により減量した量	
⑦	0.00

⑦	0.00
---	------

自ら中間処理した後 再生利用した量	
⑧	0.00

⑧	0.00
---	------

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	
⑨	0.00

⑨	0.00
---	------

直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	
⑩	6,448.34

⑩	6. 448. 34
---	------------

⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	
⑪	1,747.22

⑪	1.747.22
---	----------

⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	
⑫	6,448.34

⑫	6, 448. 34
---	------------

⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	
⑬	0.00

⑬	0.00
---	------

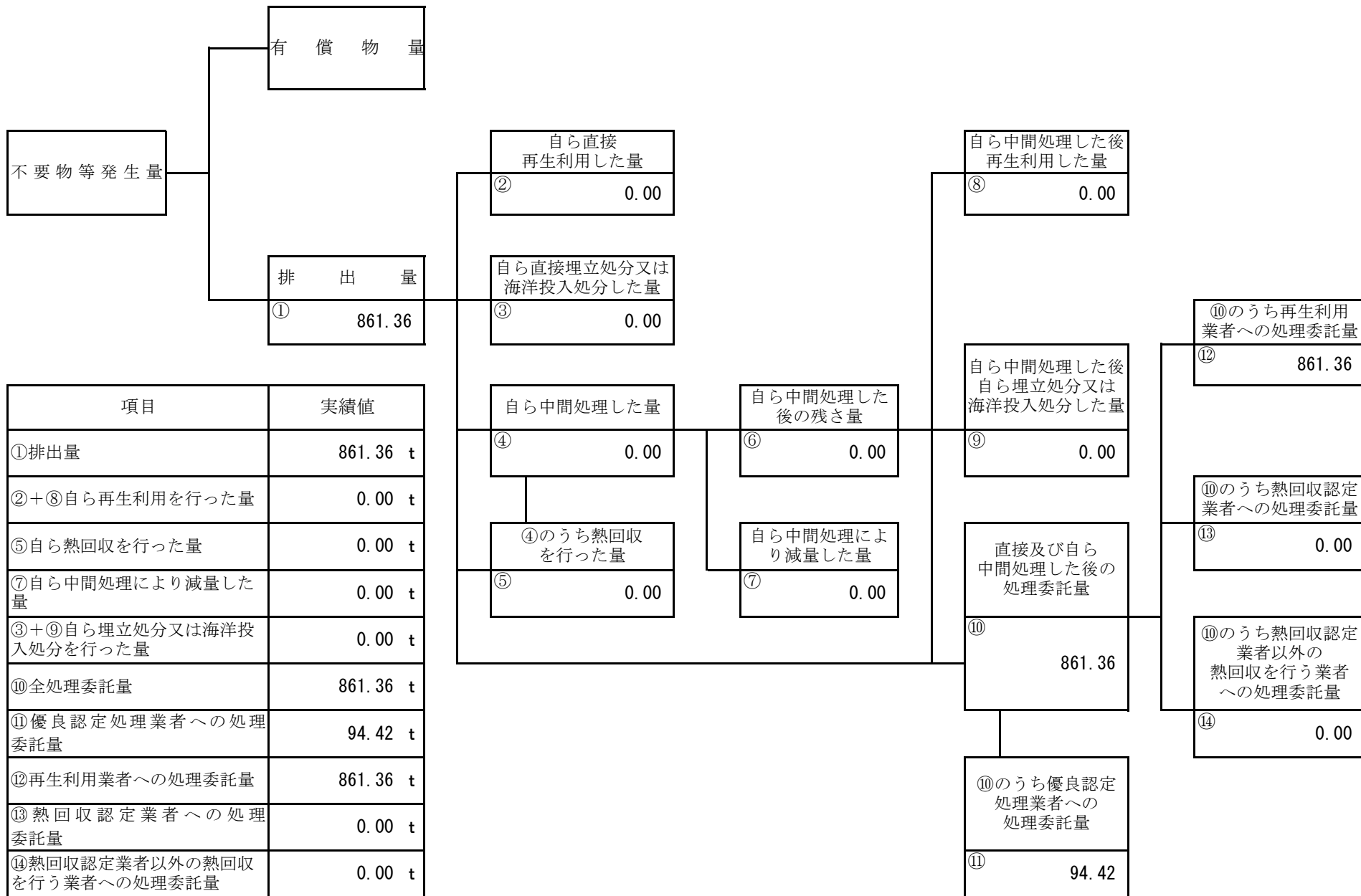
⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭	0.00
---	------

項目	実績値
①排出量	6,448.34 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	6,448.34 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1,747.22 t
⑫再生利用業者への処理委託量	6,448.34 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

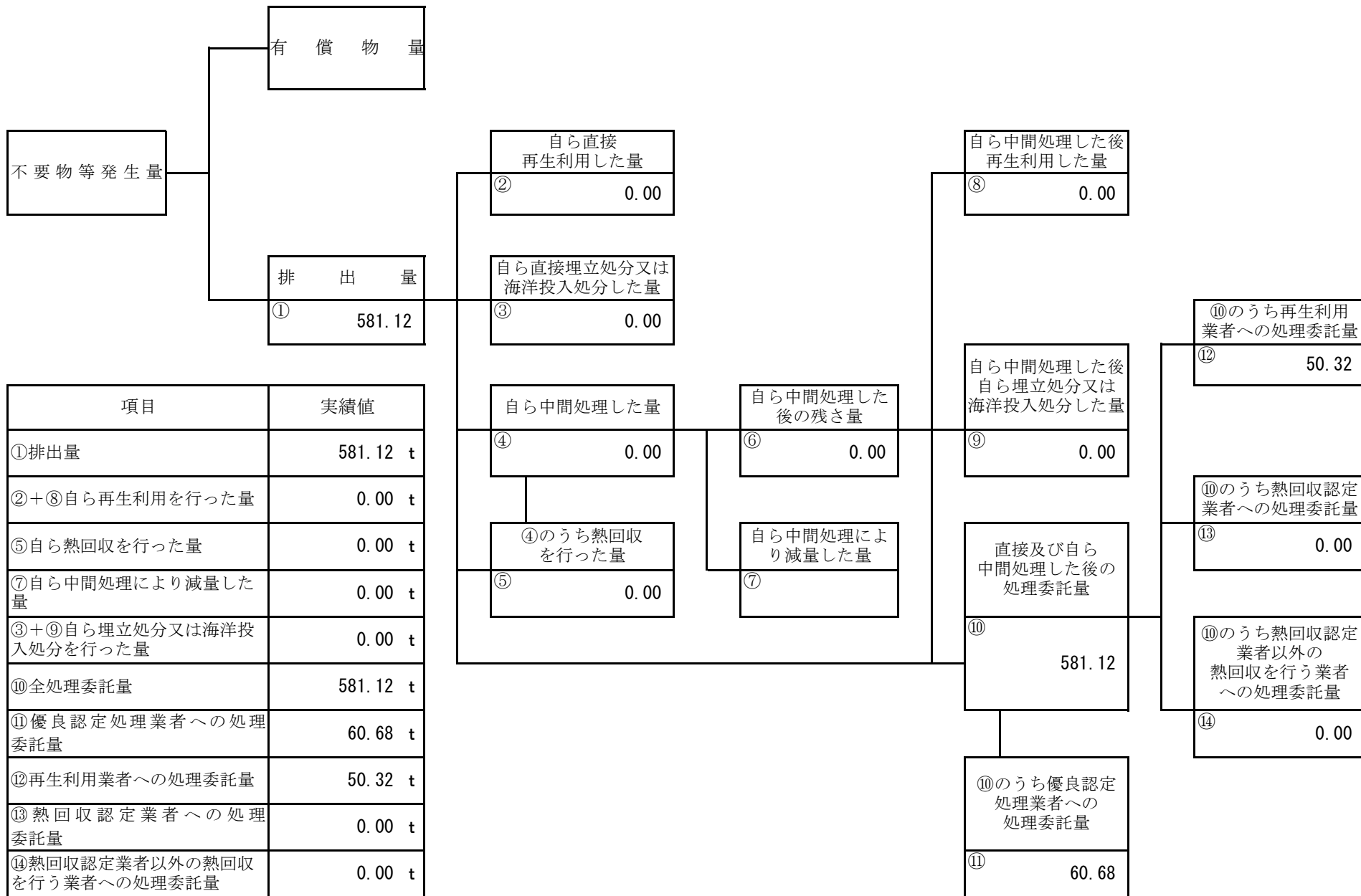
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃アスファルト)



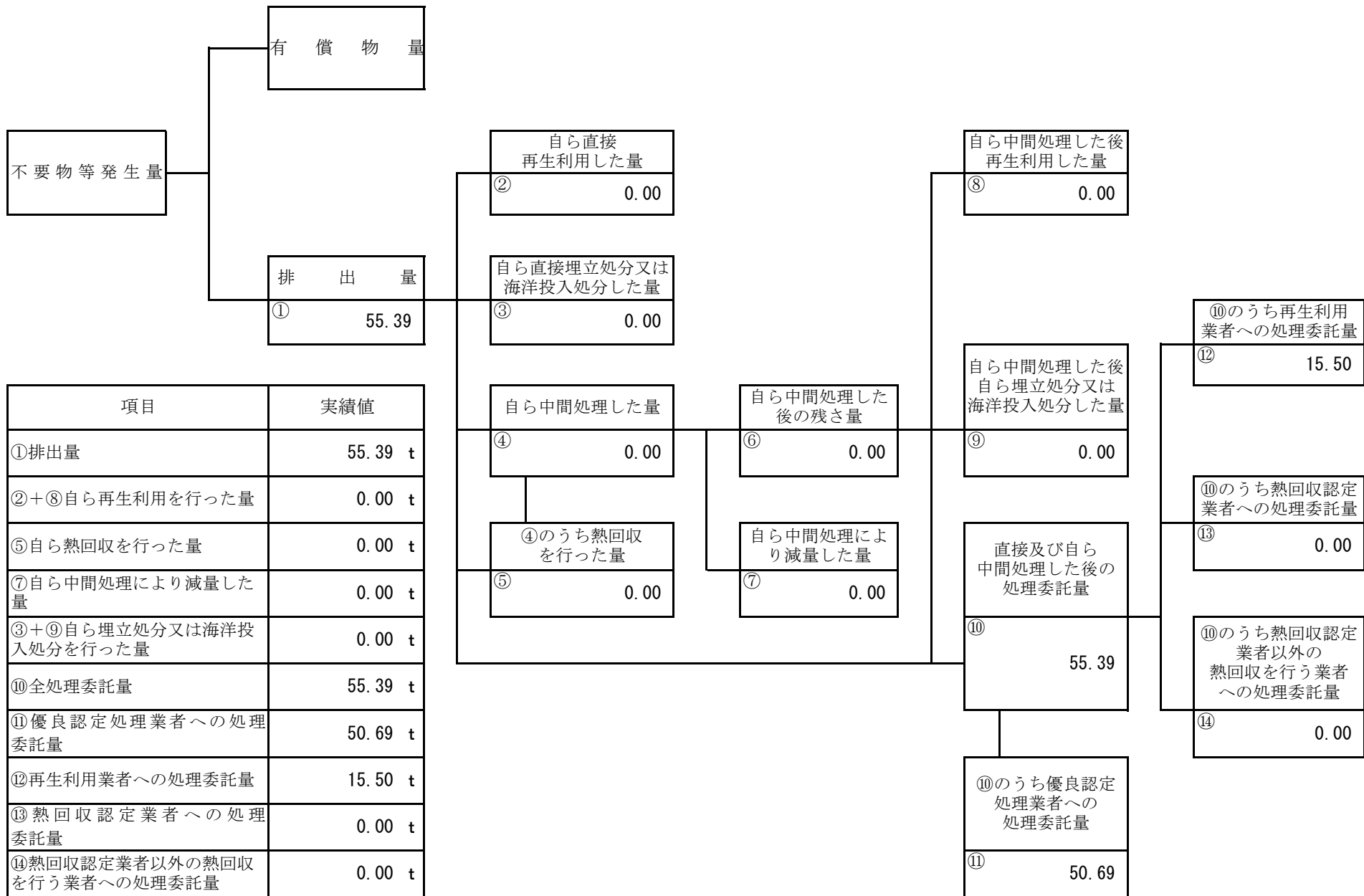
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： その他がれき類)



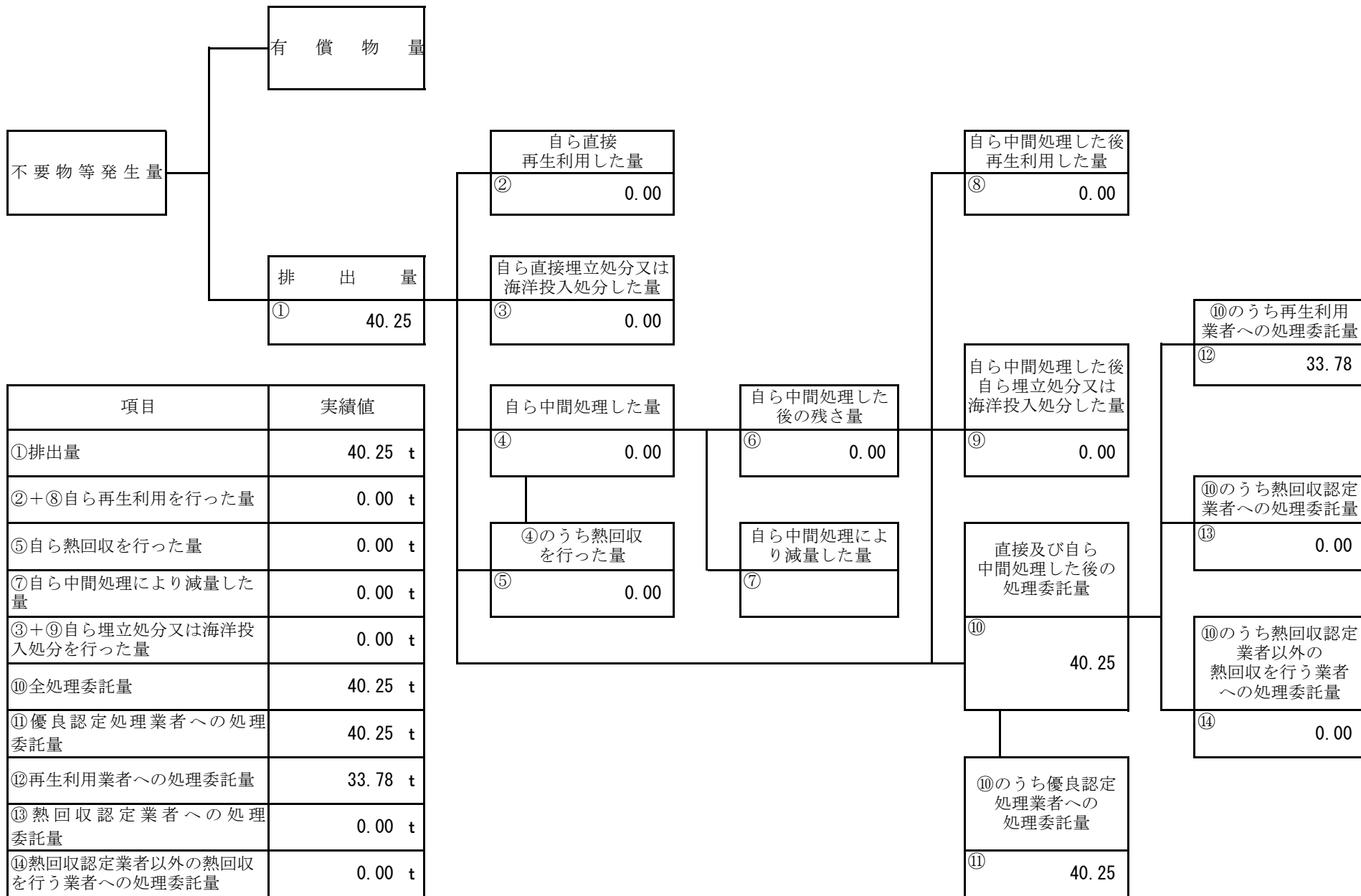
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： ガラス・陶磁器くず)



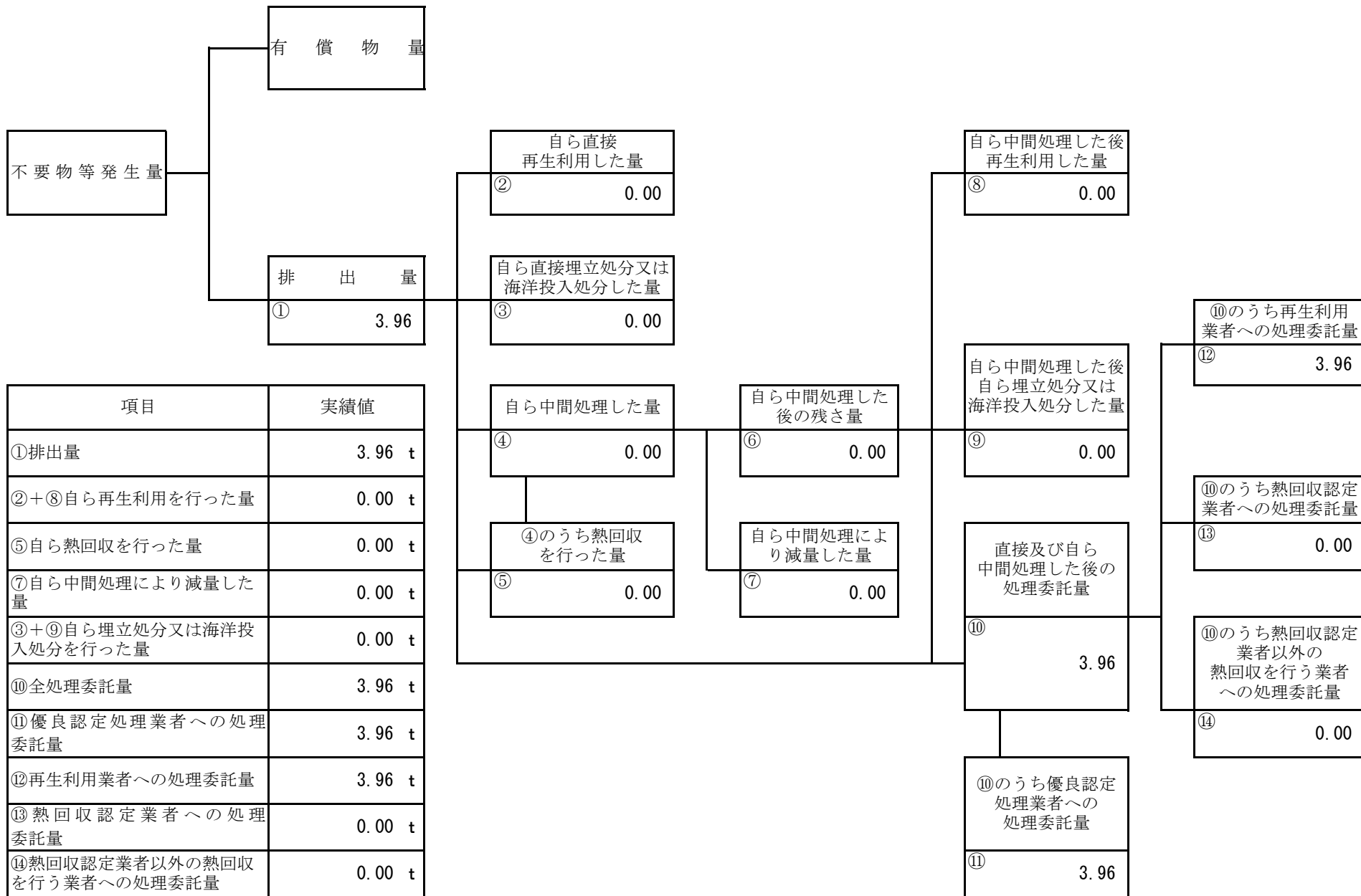
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック類)



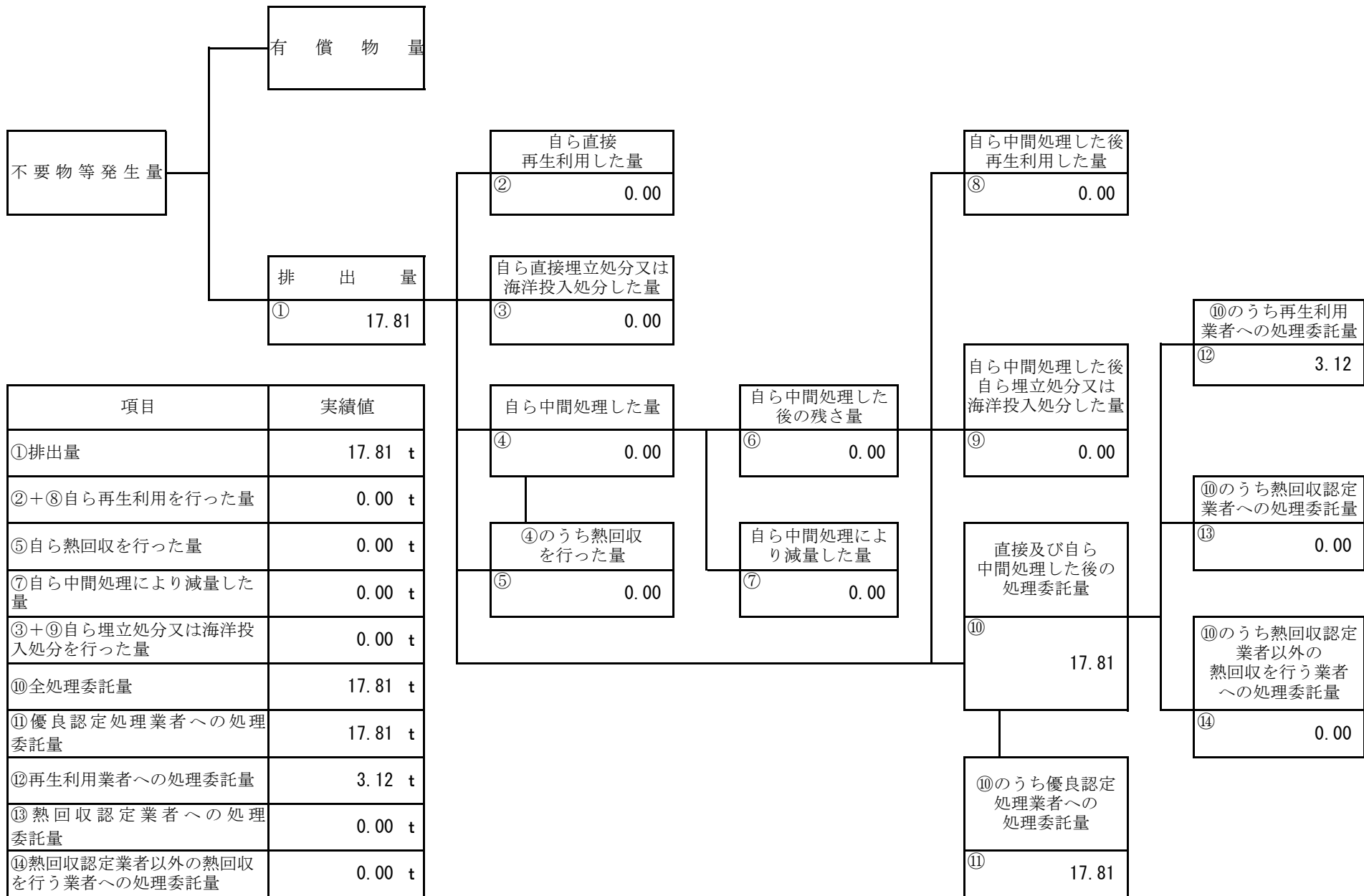
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 金属くず)



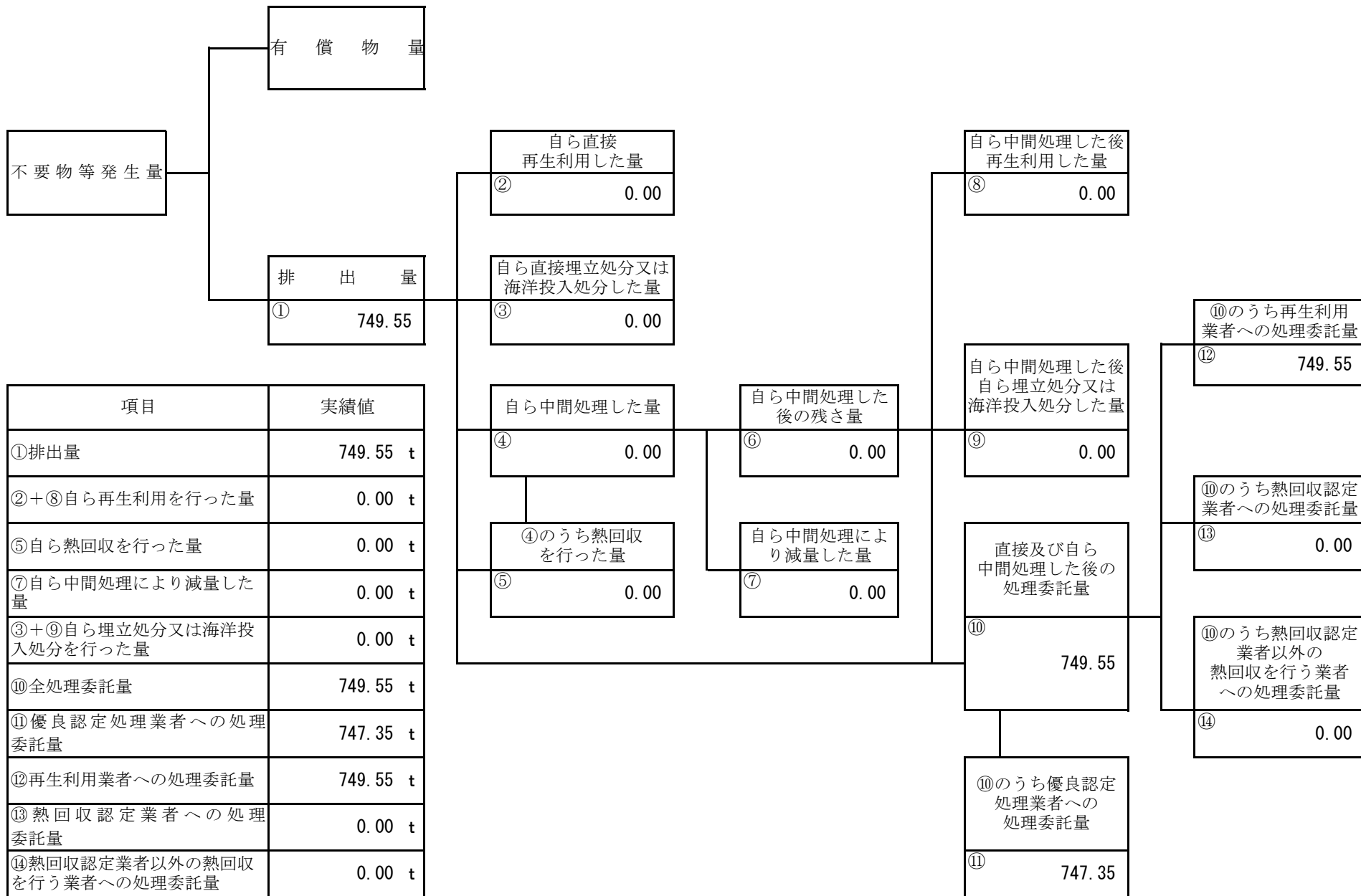
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 混合（安定型）)



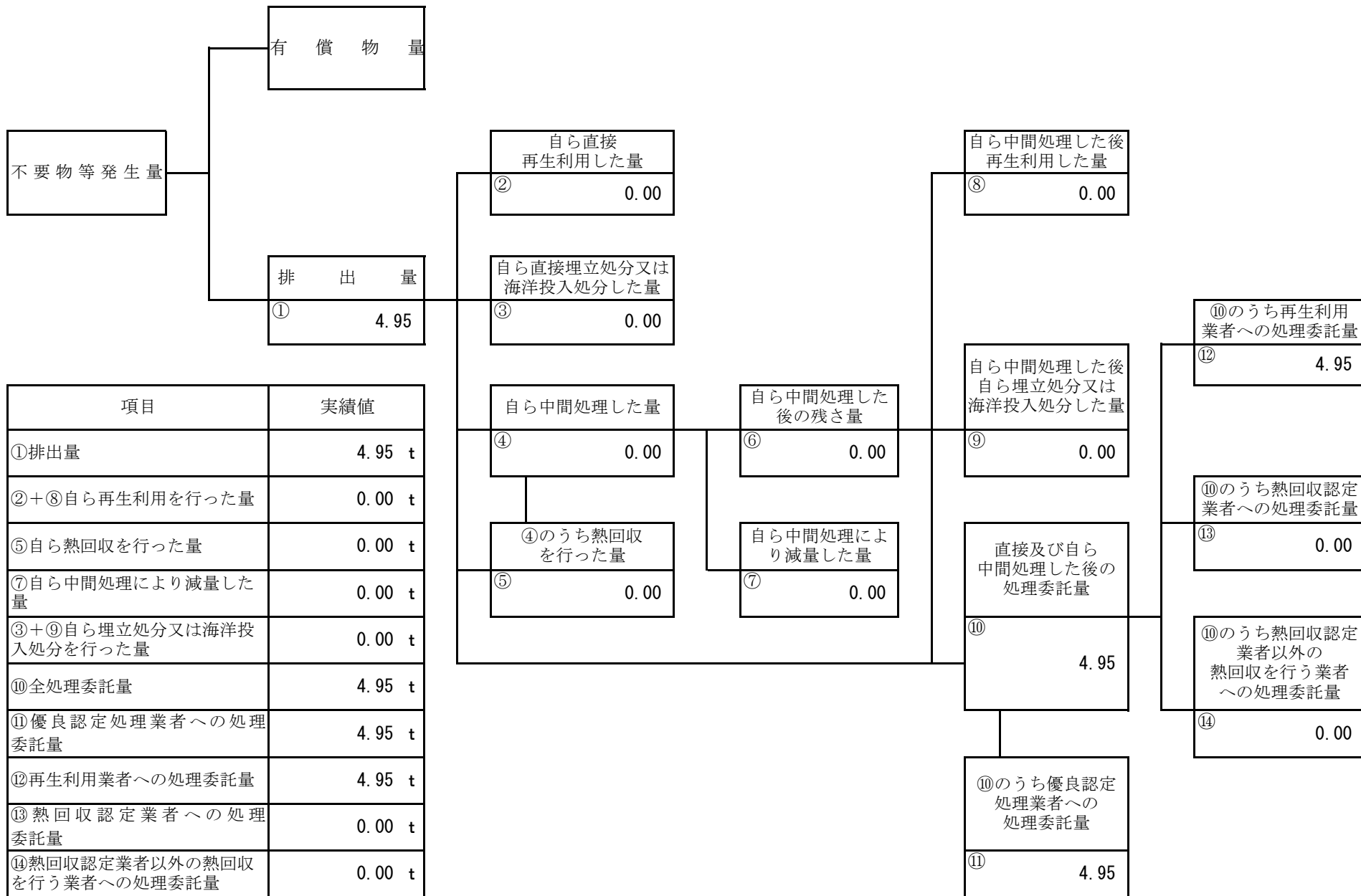
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 汚泥)



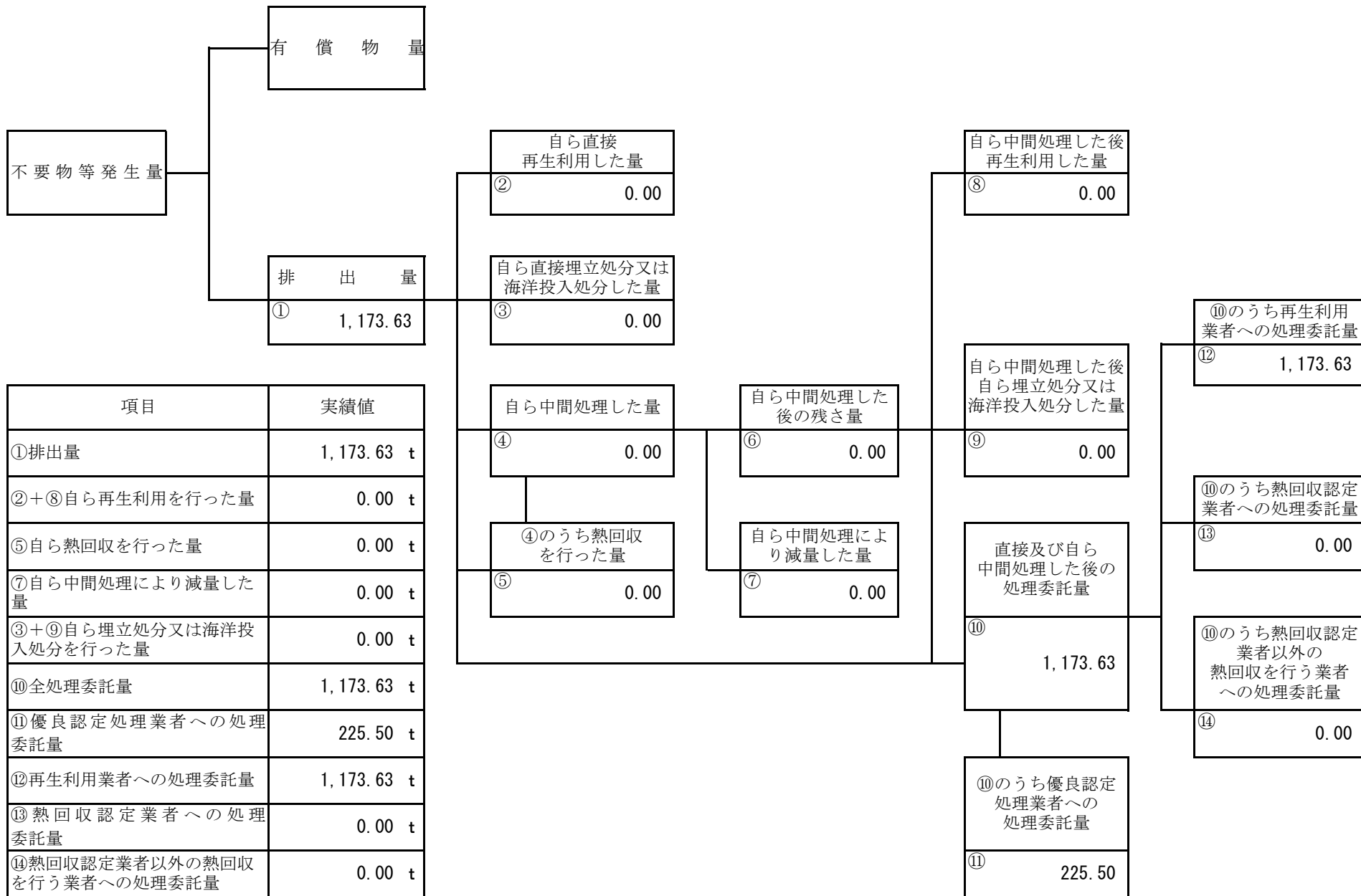
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 紙くず)



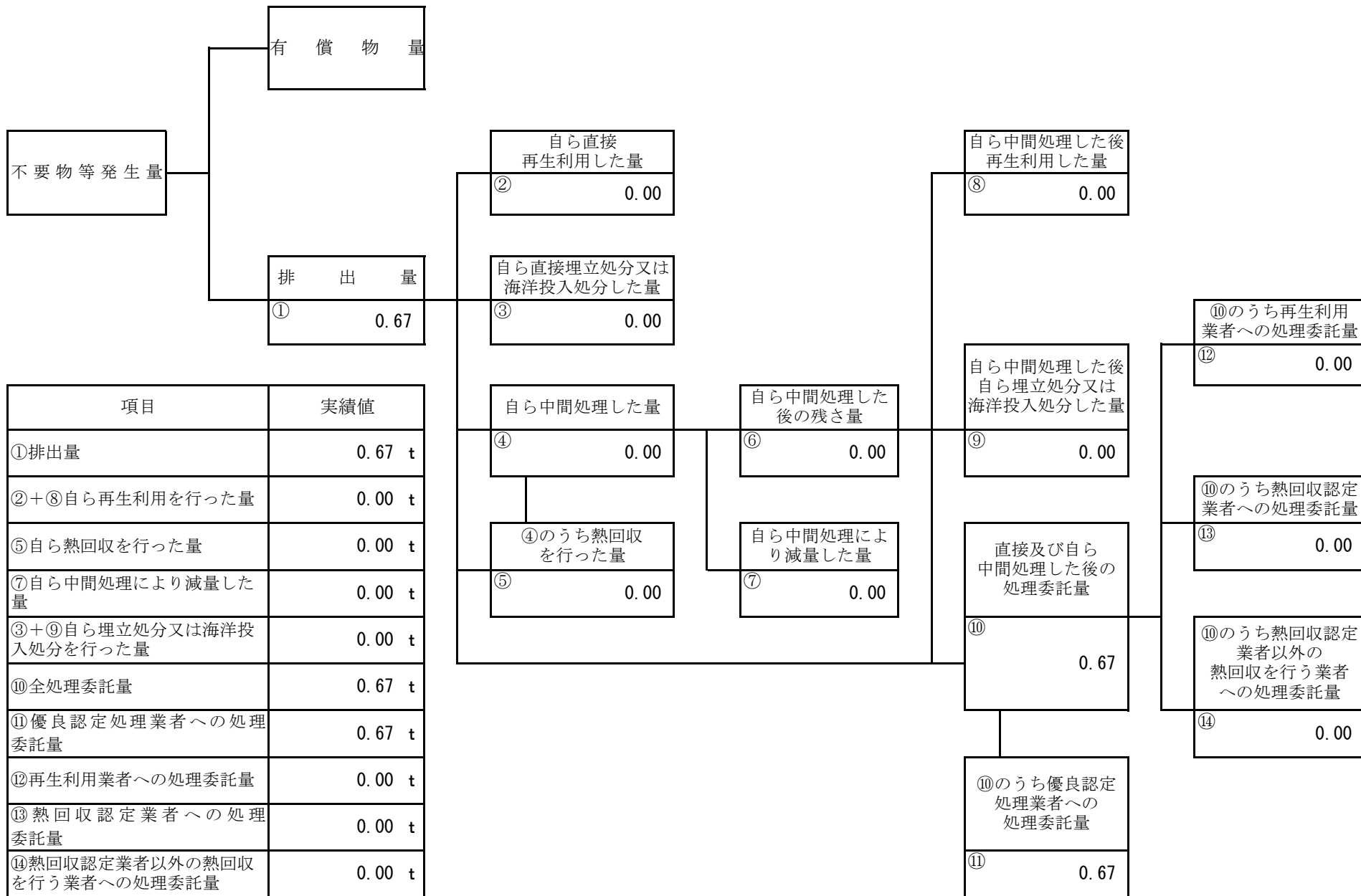
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 木くず)



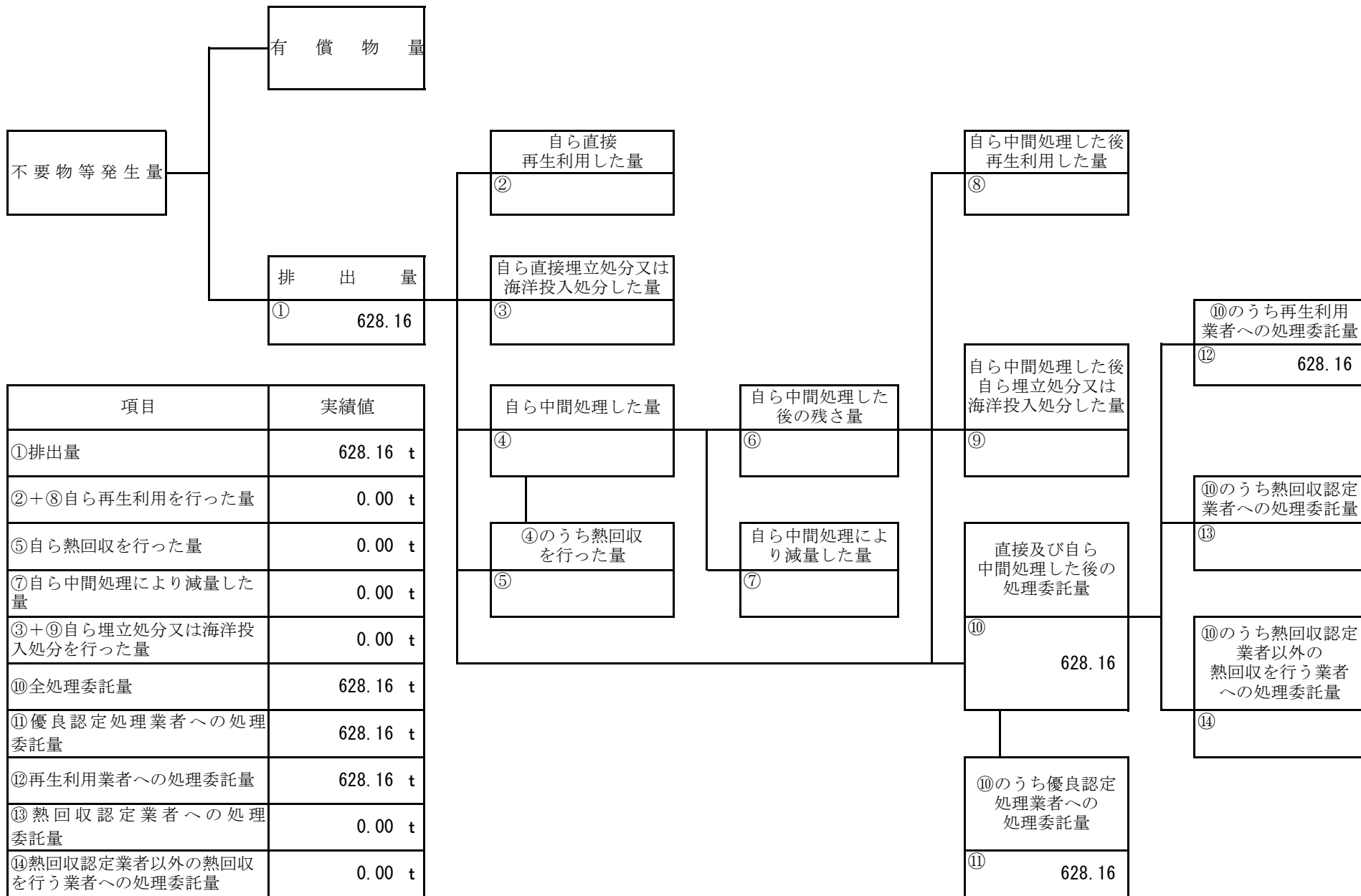
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 繊維くず)



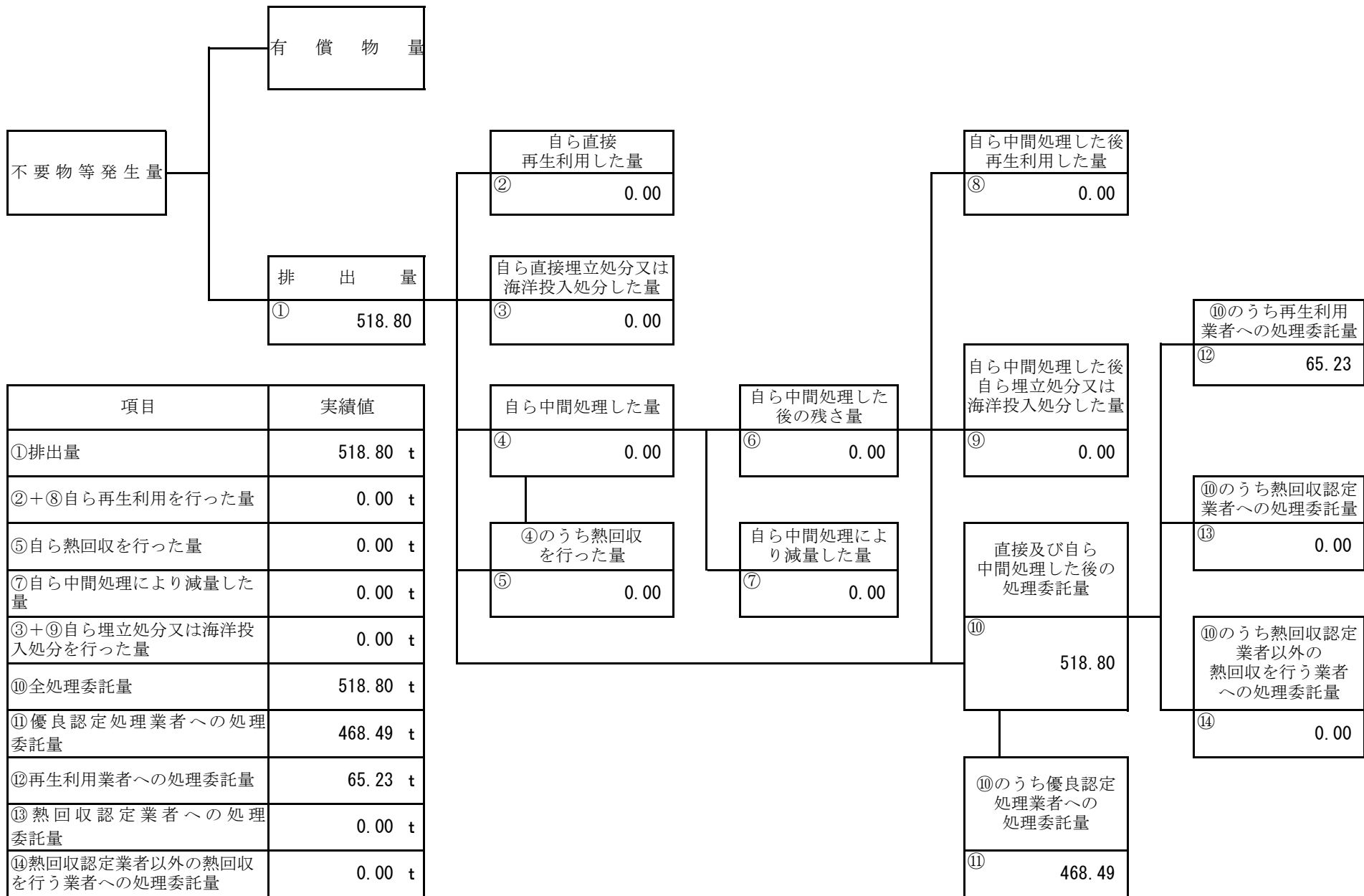
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃石膏ボード)



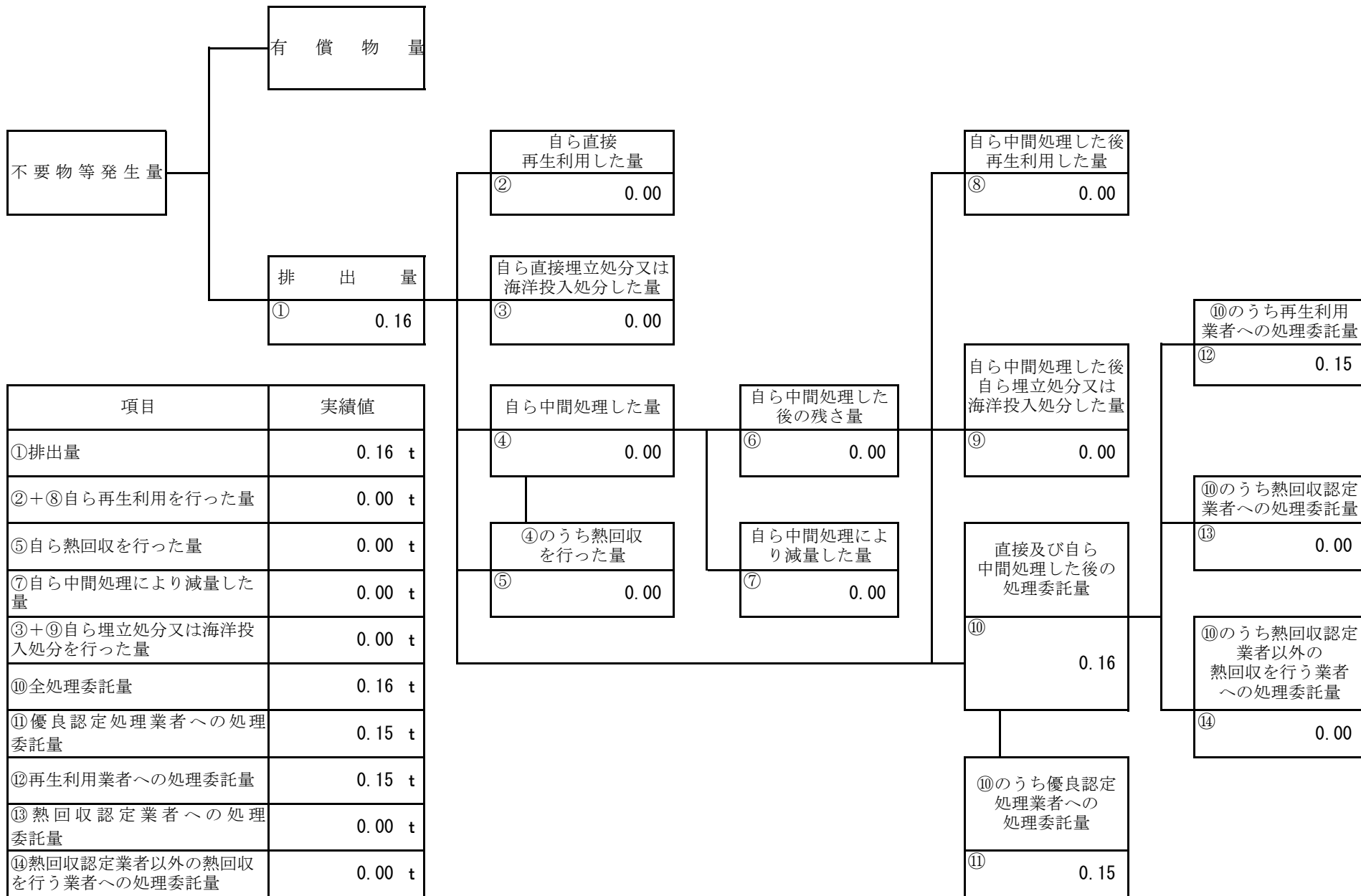
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 混合（管理型）)



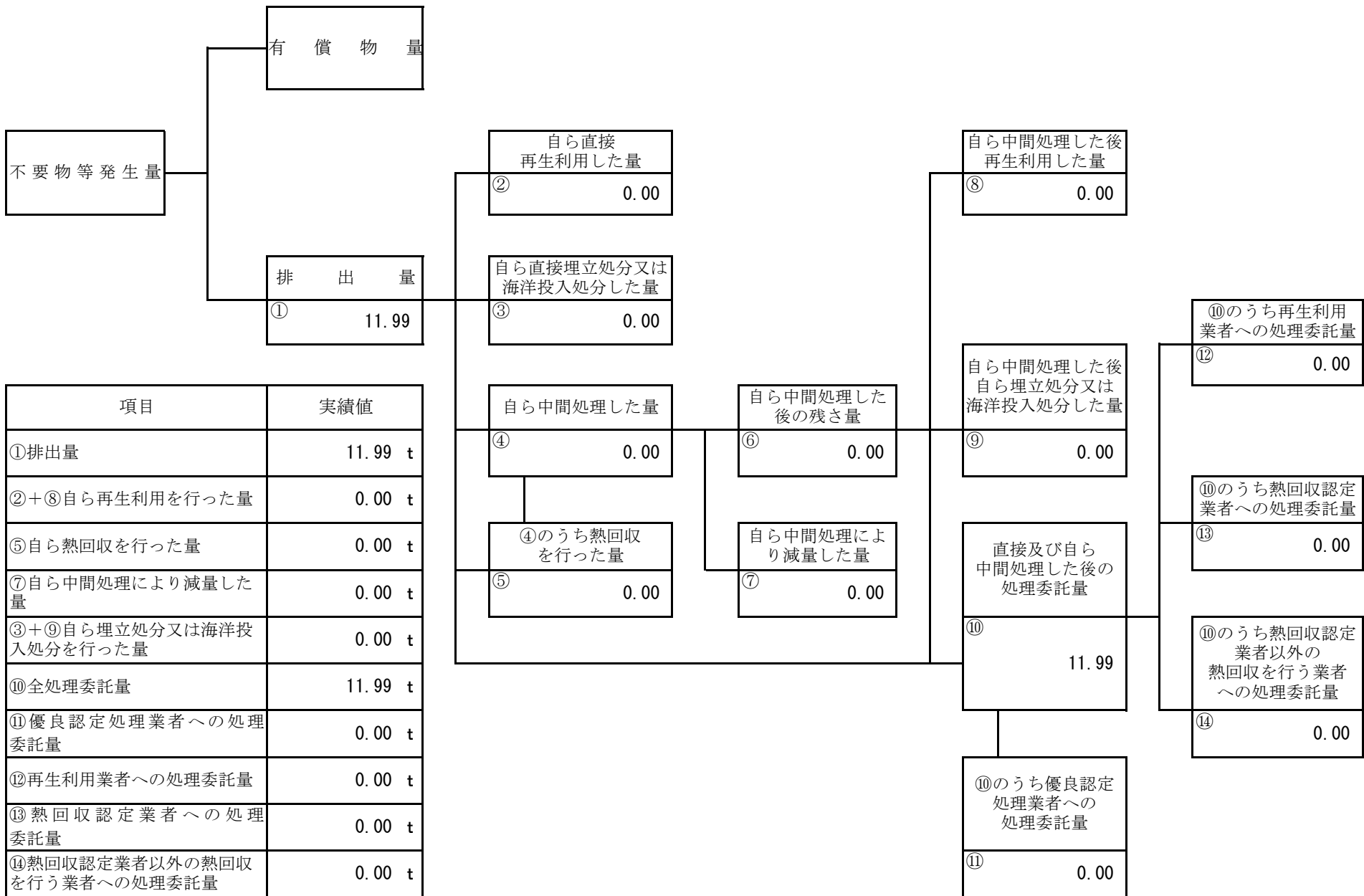
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃蛍光灯)



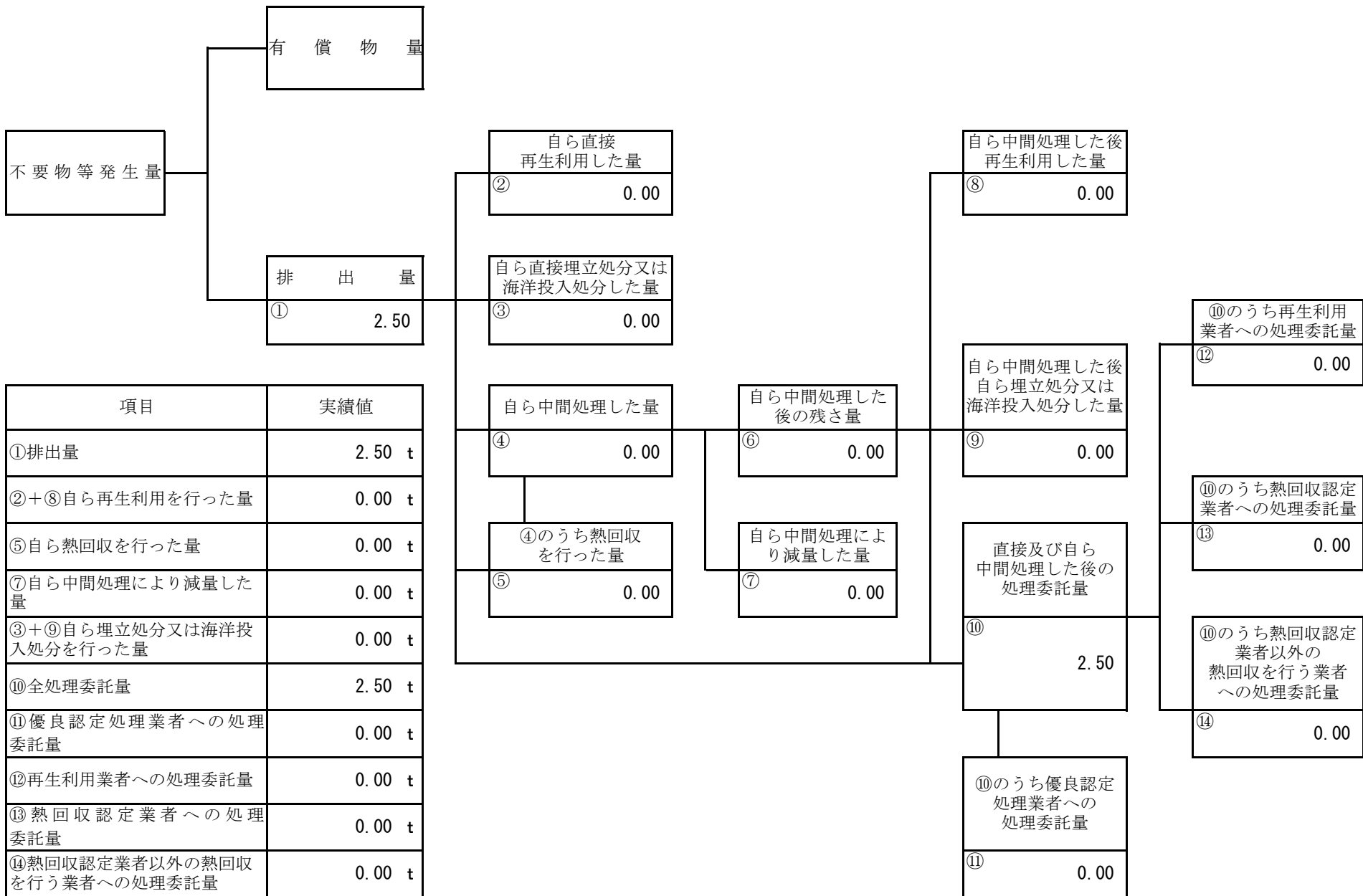
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： がれき類（石綿含有）)



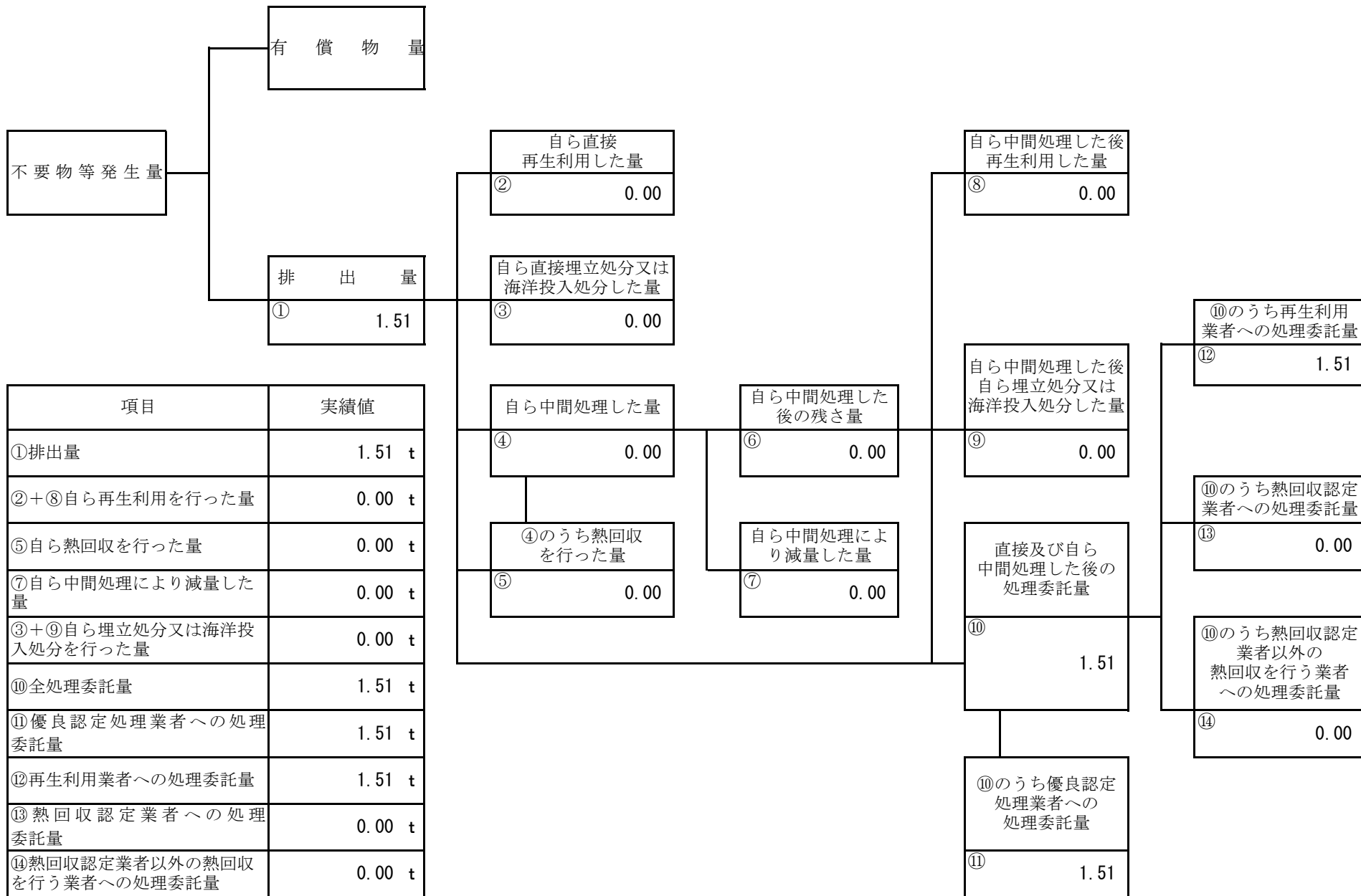
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：ガラス陶磁器くず(石綿含有))



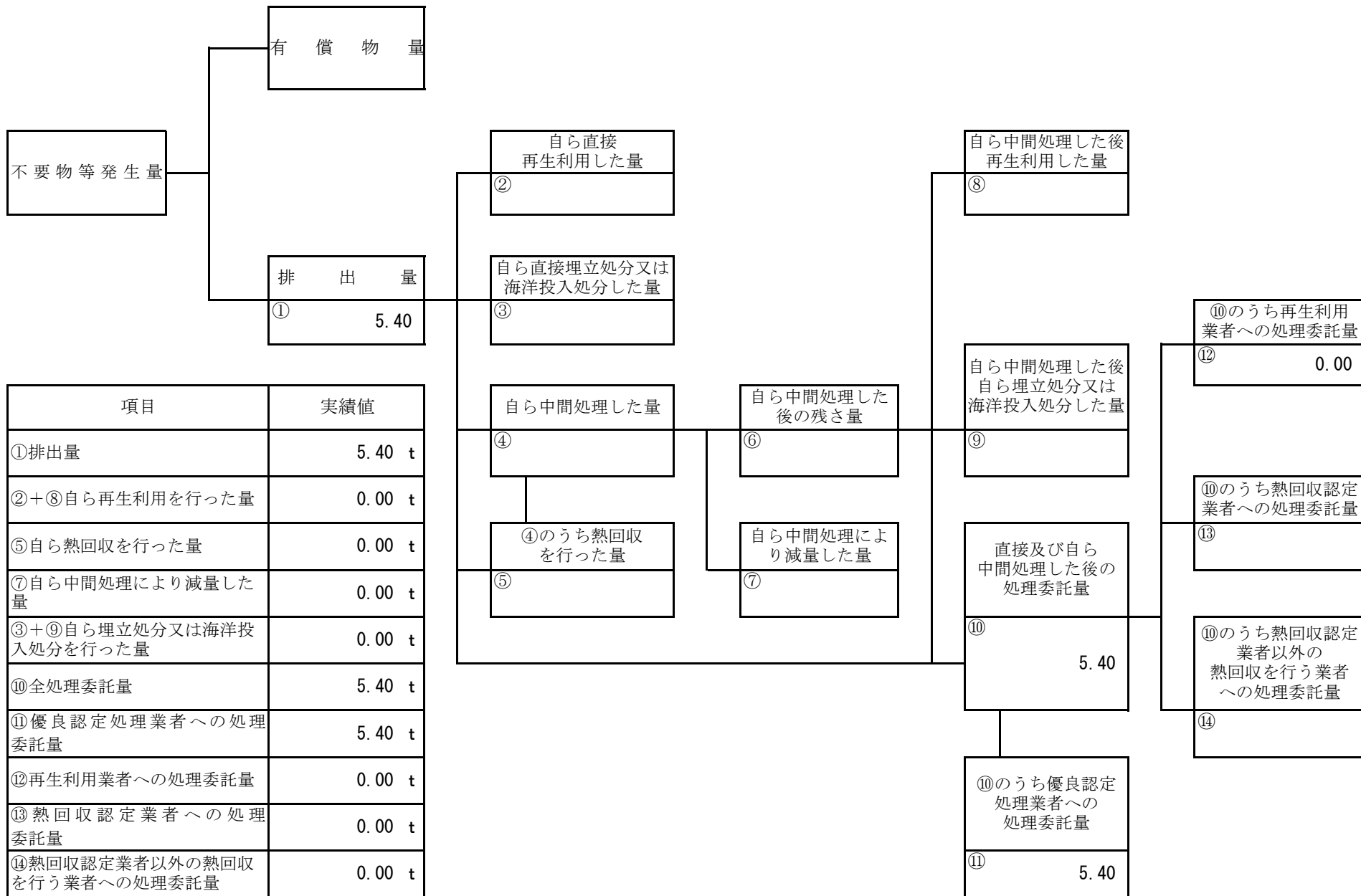
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃油)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃石綿)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書 令和6年 6 月 1 7 日 福岡市長 高島 宗一郎 殿 提出者 住 所 福岡県福岡市中央区薬院三丁目4番9号 氏 名 松尾建設株式会社 福岡支店 支店長 味志 聡 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0 9 2 - 5 2 1 - 6 7 6 1 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	松尾建設株式会社 福岡支店
事業場の所在地	福岡市内事業場
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	建設業・総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高 1,569,373万円(福岡支店前年度実績)
③従業員数	78人(令和6年4月現在)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	工事現場 → 収集運搬 → 中間処理 → 再生資源 ↓ 埋立処分

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 資材等の梱包の簡素化による発生抑制 ・ プレキャスト化等発生抑制に配慮した工法の採用		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 再利用可能な仮設材の利用促進 ・ 現場加工の削減		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 特定建設資材廃棄物の分別 ・ 有価物及び再生率の高い廃棄物の分別
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ より細かい廃棄物の分別を行い混合廃棄物の削減を行う

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・特になし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) ・特になし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) ・特になし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・特になし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・優良認定業者への処理委託 ・電子マニフェスト制度による廃棄物管理		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 電子マニフェスト制度の利用拡大 ・ 優良認定業者の利用拡大 ・ 再資源化業者の利用拡大によるリサイクル率の向上		

※事務処理欄	
--------	--

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書（第2面～第5面）別紙

単位・トン (t)

①現状【前年度(令和5年度)実績】 ②計画【目標】		産 業 廃 棄 物 の 種 類																		排出 量 合 計
		コン クリ ート が	ア ス フ ア ルト が	が れ き 類	及 ン ガ ラ ス ク ズ ・ 陶 磁 器 く ず	類 廃 プ ラ ス チ ッ ク	金 属 く ず	定 混 合 型 の 廃 棄 物 (安 み)	汚 泥	紙 く ず	木 く ず	織 維 く ず	廃 石 膏 ボ ー ド	理 混 合 廃 棄 物 (管 含 む)	廃 蛍 光 灯	石 綿 含 有 (が れ き 類)	石 綿 含 有 (ガ ラ ス く ず)	廃 油	廃 石 綿	
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																				
①現状 排出量		6,448.336	861.360	581.124	55.390	40.250	3.955	17.810	749.550	4.950	1,173.630	0.672	628.155	518.800	0.164	11.988	2.500	1.508	5.400	11,105.542
②計画 排出量		5,800.000	775.000	520.000	50.000	36.000	3.500	16.000	675.000	4.500	1,056.000	0.600	565.000	466.000	0.150	11.000	2.250	1.300	4.800	9,987.100
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項																				
①現状 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②計画 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項																				
①現状 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②計画 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項																				
①現状 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②計画 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産業廃棄物の処理の委託に関する事項																				
①現状	全処理委託量	6,448.336	861.360	581.124	55.390	40.250	3.955	17.810	749.550	4.950	1,173.630	0.672	628.155	518.800	0.164	11.988	2.500	1.508	5.400	11,105.542
	優良認定処理業者への処理委託量	1,747.216	94.424	50.680	50.690	40.250	3.955	17.810	747.350	4.950	225.500	0.672	628.155	468.490	0.150	0	0	1.508	5.400	4,087.200
	再生利用業者への処理委託量	6,448.336	861.360	50.320	15.500	33.775	3.955	3.120	749.550	4.950	1,172.530	0	628.155	65.230	0.150	0	0	1.508	0	10,038.439
	認定熱回収業者への処理委託量																			0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量																			0
②計画	全処理委託量	5,800.000	775.000	520.000	50.000	36.000	3.500	16.000	675.000	4.500	1,056.000	0.600	565.000	466.000	0.150	11.000	2.250	1.300	4.800	9,987.100
	優良認定処理業者への処理委託量	1,566.000	85.250	52.000	46.000	36.000	3.500	16.000	675.000	4.500	200.640	0.600	565.000	419.400	0.137	11.000	2.250	1.300	4.800	3,689.377
	再生利用業者への処理委託量	5,800.000	775.000	47.000	14.000	30.000	3.500	3.000	675.000	4.500	1,056.000	0.000	565.000	61.000	0.137	0	0	1.300	0	9,035.437
	認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

統括管理者	所 属：松尾建設株式会社	職名：常務取締役
廃棄物担当	組織名：安全環境管理室	組織職員 14名
役割	環境保全 対策委員会	○建設副産物処理に関する検討 建設副産物の「発生の抑制」、「再利用及び減量化の促進」及び「適正処理の徹底」を基本として運営管理を行う上で必要な事項を検討する。 ・委員長－専務取締役 ・委 員－関連部署担当者 ・事務局－安全環境管理室
	建設副産物 総括管理者	○ 建設副産物処理方針の策定 ○ 社内管理組織の整備 ○ 社内管理規定の策定・改廃 ○ 社内管理規定・処理マニュアルの作成 ○ 法令・行政指導内容等の周知、教育・啓発 ○ 建設副産物の処理に関する各種事項の決定、承認
	建設副産物 総括責任者 (地区・支店)	○ 建設副産物処理計画書の作成支援・指導 ○ 建設副産物管理状況の把握と改善策の検討 ○ 処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ○ その他関係する事項
	建設副産物 処理責任者 (作業所)	○ 建設副産物処理計画書の作成 ○ 委託契約の締結 ○ 産業廃棄物管理票の交付・管理・記録・処理実績の報告 ○ 産業廃棄物の処理現状の確認

産業廃棄物管理組織

